

令和3年度 公認基礎水泳指導員養成講習会・検定試験実施要項

山形県水泳連盟普及委員会

日本水泳連盟公認基礎水泳指導員養成講習会並びに検定試験を下記の要項で実施します。

1 目的

公益財団法人日本水泳連盟が国民の生涯スポーツとしての水泳の普及と発展に努め、水の事故防止に寄与する基礎水泳指導員の養成を図る。

2 主催 (公財) 日本水泳連盟

3 主管 山形県水泳連盟普及委員会

4 期日及び日程 令和4年1月22日(土)～令和4年3月6日(日)
別紙日程表の通り(期日や会場等は変更になる場合があるので注意すること)
学科 10時～12時 昼食・休憩 12時～13時
実技 13時～15時

5 会場

☆山形市総合スポーツセンター大会議室・屋内プール ☎023-625-1052

6 受講・受験資格

- (1) 検定試験当日(3月6日) 満18歳以上の者または来年3月に高等学校を卒業する生徒。
- (2) 講習・実習・検定試験すべてを受講・受験しなければならない。(免除対象者を除く)

7 申込手続き

- (1) 希望者は **12月25日(土)まで**に必要書類を提出し申し込むこと。
- (2) 申し込み時に必要なもの

- ①講習会受講申込書(水泳連盟で送付した所定のもの)
- ②検定試験申込書(水泳連盟で送付した所定のもの)

※写真(縦3,5cm×横2,5cm)2枚(無帽無背景、裏面に氏名を記入)を所定の欄に貼る。

- (3) 経費 講習会受講料 17,000円 テキスト代含む
検定料 8,000円 合計25,000円 (当日集金)
(補講料5000円、再受験料2000円は別途)

原則として一度納入した経費は返金いたしません。

- (4) 申し込み先 〒990-8580 山形市城南町一丁目1番1号
山形県立霞城学園高等学校内
山形県水泳連盟普及委員会 池田 健 宛
携帯 090-4884-0648 (午後5時30分～9時)

①②のものを同封のうえ申し込むこと

8 定員 15名

(但し10名に満たない場合は中止します。その場合は申込者に連絡します)

9 検定試験の内容

- (1) 実技試験・100M個人メドレー（制限タイム：男子1分40秒以内、女子1分50秒以内）
ただし、36歳から1歳につき1秒加算
 - (2) 学科試験・水泳指導者、初心者指導法 ・水泳プールにおける安全
・水泳の科学
- ※100点法で評価し、60点以上合格

10 参加者の持参するもの

- (1) 水泳用具
 - (2) 筆記用具
 - (3) 《経費》25,000円
- ※受講票・受験票は講習初日に水泳連盟より配付。
※テキスト 受講者全員には当日配付する。(受講料に含まれている) ※全員購入する
(公財)日本水泳連盟編「水泳指導教本(三訂版)」 大修館書店発行

11 免除規定

次に該当する方は講習及び検定試験の一部又は全部が免除となります。

- ア 国際大会(オリンピック、世界選手権大会、アジア大会、パンパシフィック大会、ユニバーシアード大会、ワールドリーグ大会) 出場者
国内大会(日本選手権大会、国民体育大会、日本学生選手権大会、日本高等学校選手権大会、日本短水路選手権大会) 出場者

※実技講習(基礎及び実践技術、個人メドレー)を免除 検定試験は免除しない

- イ 日本赤十字社(水上安全指導員、救助員資格保持者、救急法指導員、救急員資格保持者)
消防機関(消防上級救命講習修了者、その指導にあたる資格保持者)

※実技講習(心肺蘇生法)を免除 検定試験は免除しない

- ウ 日本水泳連盟日本泳法「練士」以上保持者

※実技講習(日本泳法(横泳ぎ))を免除 検定試験は免除しない

- エ【コーチ資格への受講を条件に】

上記アの国際大会への出場者及び選手を育成した監督・コーチ、または日本選手権大会において8位以上の出場者及び選手を育成した監督・コーチ

※日本水泳連盟で審査のうえ、講習及び検定のすべてを免除する

※上記ア、イ、ウの免除対象者は受講料・受験料の免除はしないので、講習についてはできる限り参加することを勧めます。

12 その他注意事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の状況及び施設の都合により、実施場所や時間に変更になる場合があります。その都度連絡しますのでご注意ください。
- (2) 1月22日～2月13日は講習等、3月6日が検定試験となります。
- (3) 発熱等新型コロナの症状がある場合は受講できません。健康管理上、健康診断を受講前に各自の責任で受けておくことをお勧めします。
- (4) 冬期間ですので、車の運転には十分注意してお越してください。
- (5) 本資格は(公財)日本水泳連盟が認定する資格です。取得後、(公財)日本スポーツ協会が行う共通科目を受講することにより、同協会が認定する公認コーチⅠ(旧公認指導員)や公認コーチⅢ(旧公認コーチ)に移行することが可能になります。